

1. 試験目的 空中散布での防除効果の確認。

2. 対象病害虫 斑点米カメムシ類

3. 試験内容

(1)実施場所 弘前市境関 (2)実施農家 小田桐 克也

(3)実施支店 和徳支店 (4)担当者 泉 荘

(5)概要

品 種 青天の霹靂 播 種 量 160 g / 箱

播 種 日 4月13日 苗の種類 中苗 ・ ハウス

代かき日 5月10日 移 植 日 5月15日

出 穂 日 8月1日 収 穫 始 め 9月20日

(6)試験構成

試験面積 100 a (試験区 70 a 対 照 区 30 a)

試験区			対 照 区		
散布日	薬剤名	散布量	散布日	薬剤名	散布量
7月30日	エクシードF(16倍)	0.8 / 10a	7月30日	キラップF(16倍)	0.8 / 10a
		/ 10a			/ 10a
		/ 10a			/ 10a

4. 試験結果

(1)防除効果

対象病害虫	防除前 発生状況	防除後被害状況	
		試験区	対 照 区
カメムシ類	多い	少ない	少ない

(2)薬害の発生

無

(3)農家の意見

色選時比べてみると、試験区の方が対照区よりもはじかれる粒がやや少なかった。値段等も考慮しカメムシ防除の薬剤の一つとして使用したい。

5. 評価

(1)資材の評価

項目	散布効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	4	3	3	3

(2)評価の理由

防除効果 対照区と比べやや良い。

実用性 対照区と同等のため。

使いやすさ 対照区と同等のため。

(3)その他特記事項

1. 試験目的 空中散布での防除効果の確認。

2. 対象病害虫 斑点米カメムシ類

3. 試験内容

(1)実施場所 藤崎町俵舛 (2)実施農家 工藤 忠彦

(3)実施支店 藤崎支店 (4)担当者 鳴海 清志郎

(5)概要

品 種 まっしぐら 播 種 量 160 g / 箱

播 種 日 4月8日 苗の種類 中苗 ・ ハウス

代かき日 5月12日 移 植 日 5月17日

出 穂 日 7月29日 収 穫 始 め 9月15日

(6)試験構成

試験面積 120 a (試験区 60 a 対 照 区 60 a)

試験区			対 照 区		
散布日	薬剤名	散布量	散布日	薬剤名	散布量
8月17日	エクシードF	0.8 / 10a	8月17日	スタークル液剤10	0.8 / 10a
		/ 10a			/ 10a
		/ 10a			/ 10a

4. 試験結果

(1)防除効果

対象病害虫	防除前 発生状況	防除後被害状況	
		試験区	対 照 区
カメムシ類	多い	少ない	少ない

(2)薬害の発生

無

(3)農家の意見

今年も両区とも被害粒は少なく、差は感じられなかった。

5. 評価

(1)資材の評価

項目	散布効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2)評価の理由

防除効果 対 照 区 と 同 等 の た め 。

実用性 対 照 区 と 同 等 の た め 。

使いやすさ 対 照 区 と 同 等 の た め 。

(3)その他特記事項



1. 試験目的 除草効果の確認

2. 試験内容

(1)実施場所	弘前市船水	(2)実施農家	石戸谷 久
(3)実施支店	弘前西支店	(4)担当者	福田 静
(5)概要			
品種	豊盃	ほ場の土性	砂壤土
代かき日	5月15日	移植日	5月20日
活着状況	良好	生育状況	良好
減水深	2.0 cm / 日	雑草状況	無

(6)試験構成
 試験面積 60 a (試験区 30 a 対照区 30 a)

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月20日	エリジャン乳剤	300m l / 10a	5月20日	エリジャン乳剤	300m l / 10a
6月5日	レブラスギア粒剤	1 k g / 10a	6月5日	レブラス粒剤	1 k g / 10a
		/ 10a			/ 10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴れ	曇り	曇り	晴れ	曇り	雨	雨	晴れ

3. 試験結果

(1)除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミスアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミスガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験															
対照															

(2)薬害の発生

無

発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》 : 良く効いた。 : あまり効かなかった。 × : ほとんど効かなかった。

(2)農家の意見

どちらも効いていた。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2)評価の理由

除草効果	対照区と同等
実用性	対照区と同等
使いやすさ	対照区と同等

(3)その他特記事項

1. 試験目的

除草効果の確認

2. 試験内容

(1)実施場所	大鰐町 森山	(2)実施農家	佐々木 崇
(3)実施支店	大鰐支店	(4)担当者	寺田 佳洋
(5)概要			
品種	はれわたり	ほ場の土性	埴壤土
代かき日	5月13日	移植日	5月15日
活着状況	良好	生育状況	良好
減水深	2.0 cm / 日	雑草状況	少

(6)試験構成

試験面積 60 a (試験区 30 a 対照区 30 a)

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月30日	レプラスギア	1kg / 10a	5月30日	レプラス粒剤	1kg / 10a
		/ 10a			/ 10a
		/ 10a			/ 10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴

3. 試験結果

(1)除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミスアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミスガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験															
対照															

(2)薬害の発生

無

発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》 : 良く効いた。 : あまり効かなかった。 × : ほとんど効かなかった。

(2)農家の意見

どちらも同じくよく効いた。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2)評価の理由

除草効果	対照区と同等のため。
実用性	対照区と同等のため。
使いやすさ	対照区と同等のため。

(3)その他特記事項

1. 試験目的 除草効果の確認。

2. 試験内容

(1)実施場所	大鰐町 ミッ目内	(2)実施農家	山崎 光司
(3)実施支店	大鰐支店	(4)担当者	寺田 佳洋
(5)概要			
品種	はれわたり	ほ場の土性	埴壤土
代かき日	5月15日	移植日	5月18日
活着状況	良好	生育状況	良好
減水深	2.0 cm / 日	雑草状況	少

(6)試験構成
 試験面積 40 a (試験区 20 a 対照区 20 a)

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月19日	カウントダウン1キロ粒剤	1kg / 10a	5月19日	ベッカク1 [※] 粒剤	1kg / 10a
		/ 10a			/ 10a
		/ 10a			/ 10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴

3. 試験結果

(1)除草効果

	ノヒエ	アゼナ	コナギ	ミスアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミスガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験															
対照															

(2)薬害の発生

無

発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》 : 良く効いた。 : あまり効かなかった。 × : ほとんど効かなかった。

(2)農家の意見

ヒエへの効果は強いように感じた。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	4	4	3	4

(2)評価の理由

除草効果 ヒエ、ホタルイへの除草効果が高かった。

実用性 実用性はある。

使いやすさ 同等。

(3)その他特記事項

1. 試験目的 除草効果の確認。

2. 試験内容

(1)実施場所	弘前市八幡字須崎	(2)実施農家	櫻庭 智昭
(3)実施支店	岩木支店	(4)担当者	佐藤 龍彦
(5)概要			
品種	はれわたり	ほ場の土性	埴壤土
代かき日		移植日	5月20日
活着状況	良好	生育状況	良好
減水深	2.0 cm / 日	雑草状況	少

(6)試験構成
 試験面積 40 a (試験区 20 a 対照区 20 a)

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月21日	カウントダウン1キロ粒剤	1kg / 10a	5月21日	ゼータタイガー1キロ粒剤	1kg / 10a
		/ 10a			/ 10a
		/ 10a			/ 10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	曇り	晴れ	晴れ	曇り	曇り	晴れ	晴れ	曇り

3. 試験結果

(1)除草効果

	ノヒエ	アゼナ	コナギ	ミスアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミスガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験															
対照															

(2)薬害の発生

無

発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》 : 良く効いた。 : あまり効かなかった。 × : ほとんど効かなかった。

(2)農家の意見

対象区と同等に良く効いた。2年続けてヒエの発生が無かったので、ヒエの多い圃場で使いたい。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2)評価の理由

除草効果	あり
実用性	あり
使いやすさ	対象区と同等

(3)その他特記事項

1. 試験目的 除草効果の確認

2. 試験内容

(1)実施場所	弘前市青女子	(2)実施農家	下山 和人
(3)実施支店	弘前北支店	(4)担当者	長尾 紀夫
(5)概要			
品種	まっしぐら	ほ場の土性	埴壤土
代かき日	5月19日	移植日	5月21日
活着状況	良好	生育状況	良好
減水深	2.0 cm / 日	雑草状況	無

(6)試験構成
 試験面積 70 a (試験区 30 a 対照区 40 a)

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月23日	カウントダウンフロアブル	500ml / 10a	5月23日	デオーレ顆粒	80 g / 10a
		/ 10a			/ 10a
		/ 10a			/ 10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	はれ	はれ	はれ	はれ	はれ	はれ	曇り	はれ

3. 試験結果

(1)除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミスガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験															
対照															

(2)薬害の発生

無

発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》 : 良く効いた。 : あまり効かなかった。 × : ほとんど効かなかった。

(2)農家の意見

昨年よりも草の発生量は、少なかったため効果はあったと思う。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2)評価の理由

除草効果	同等
実用性	同等
使いやすさ	同等

(3)その他特記事項

今回、薬剤散布後に水の減少により奥の方の土が見えていたが、雑草の発生は少なかった。

1. 試験目的 除草効果の確認。

2. 試験内容

(1)実施場所	清水森字堀川	(2)実施農家	吉川 功
(3)実施支店	弘前東	(4)担当者	藤田 静剛
(5)概要			
品種	はれわたり	ほ場の土性	埴壤土
代かき日	5月12日	移植日	5月15日
活着状況	良好	生育状況	良好
減水深	2.0 cm / 日	雑草状況	少

(6)試験構成
 試験面積 60 a (試験区 30 a 対照区 30 a)

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月21日	カウントダウンフロアブル	500 Mℓ / 10a	5月21日	ゼータタイガーフロアブル	500 Mℓ / 10a
		/ 10a			/ 10a
		/ 10a			/ 10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴のち曇	曇一時雨	曇のち晴	晴	曇のち晴	曇	晴	曇一時雨

3. 試験結果

(1)除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミスアオイ	イボクサ	ホタルイ	シスイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミスガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験															
対照															

(2)薬害の発生

無

発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》 : 良く効いた。 : あまり効かなかった。 × : ほとんど効かなかった。

(2)農家の意見

対照区と同等に残草があった。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2)評価の理由

除草効果	あり
実用性	あり
使いやすさ	対照区と同等のため。

(3)その他特記事項

残草が若干あるが両区とも除草効果はあり。

1. 試験目的 除草効果の確認。

2. 試験内容

(1)実施場所	藤崎町俵舂	(2)実施農家	工藤 忠彦
(3)実施支店	藤崎支店	(4)担当者	鳴海 清志郎
(5)概要			
品種	まっしぐら	ほ場の土性	埴壤土
代かき日	5月15日	移植日	5月17日
活着状況	良好	生育状況	良好
減水深	1.0 cm / 日	雑草状況	少

(6)試験構成
 試験面積 120 a (試験区 60 a 対照区 60 a)

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月24日	カウントダウンジャンボ	400 g / 10a	5月24日	ゼータタイガージャンボ	300 g / 10a
		/ 10a			/ 10a
		/ 10a			/ 10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	雨のち曇り	晴れ	晴れ	曇りのち晴れ	雨のち曇り	曇りのち晴れ	曇り	雨

3. 試験結果

(1)除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミスアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミスガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験															
対照															

(2)薬害の発生

無

発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》 : 良く効いた。 : あまり効かなかった。 × : ほとんど効かなかった。

(2)農家の意見

昨年同様良く効いていた。また使用したい。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	4	4	3	4

(2)評価の理由

除草効果	対照区より良く効いたため。
実用性	田面露出しても効果があるため。
使いやすさ	対照区と同等のため。

(3)その他特記事項

1. 試験目的 除草効果の確認

2. 試験内容

(1)実施場所	弘前市船水	(2)実施農家	石戸谷 久
(3)実施支店	弘前西支店	(4)担当者	福田 静
(5)概要			
品種	豊盃	ほ場の土性	砂壤土
代かき日	5月15日	移植日	5月20日
活着状況	良好	生育状況	良好
減水深	2.0 cm / 日	雑草状況	無

(6)試験構成
 試験面積 60 a (試験区 30 a 対照区 30 a)

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月27日	カウントダウンジャンボ	400 g / 10a	5月27日	ゼータタイガージャンボ	300 g / 10a
		/ 10a			/ 10a
		/ 10a			/ 10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴れ	曇り	曇り	晴れ	曇り	雨	雨	晴れ

3. 試験結果

(1)除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミスアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミスガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験															
対照															

(2)薬害の発生

無

発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》 : 良く効いた。 : あまり効かなかった。 × : ほとんど効かなかった。

(2)農家の意見

良く効いていた。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	4	3	3

(2)評価の理由

除草効果	対照区と同等
実用性	水持ちの悪い水田でも効果高い
使いやすさ	対照区と同等

(3)その他特記事項